

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】 (8月6日~9月5日分)

フィリップスとソニーが近距離無線通信の規格化で戦略的提携

ロイヤルフィリップスエレクトロニクスとソニーは近距離無線通信技術「Near Field Communication (NFC)」を共同で開発することに合意したと発表した。

NFC は 13.56MHz の電波を用い、携帯電話やデジタルカメラ、PDA、パソコン、ゲーム機、コンピュータ周辺機器などの NFC 対応機器同士が、20センチ以内の範囲内であれば、高画質画像を伝送するのも可能な速度であらゆる種類のデータのやりとりができるようになるというもの。

また、212kbit/秒までの通信速度の NFC 技術では、フィリップスの Mifare とソニーの FeliCa という異なる方式の非接触 IC カードの両方に対応できる。

フィリップスとソニーは、NFC 技術を民生用機器やパソコン、自動車その他の産業の様々な機器に搭載していただくべく、開かれた標準規格として提案し推進するとともに、コンテンツやネットワーク事業者に対しても新しい用途を提案していくとしている。

(9/05)

米 Microsoft、Windows Media Player 9 Series の 版を発表

米 Microsoft は 9月4日、ハリウッドで開催しているイベントにて、「Windows Media Player 9 Series」のベータ版のリリースを発表した。

Windows Media Player 9 Series は、同時に発表された新メディアプラットフォーム「Windows Media 9 Series」のキーコンポーネント。音楽再生の開始にかかる時間など、性能面での向上が図られている。

PC 内に保存したメディアライブラリの検索能力も向上しており、1万曲のコレクションの検索が可能となった。またオーディオや動画のメディアライブラリに対し、これまでのページより 5000%高速にアクセスで

きるようになってきているとしている。

その他の新機能として、プレーヤーをタスクバー上に最小化しながら必要なボタンを表示することで容易に操作できるようにした「Mini-Player Mode」、プレイリストにコンテンツをすぐに追加できる「Queue It Up」機能、ピッチやトーンを変えずにオーディオや動画の再生速度を変えられる「Variable Speed Playback」機能、メタデータや再生頻度などによりメディアライブラリから好きなコンテンツの発見を促す「InfoCenter」機能が提供されている。

また、「Service」タブにより、音楽配信サービス pressplay との連携も実現。10万曲以上の楽曲から好きなものを選び、ダウンロードし、CD-R に焼いたり携帯プレーヤーに転送したりすることができる。

ベータ版は英語版のみ、Microsoft のサイトから無料でダウンロードできる。Microsoft Windows 98 Second Edition、Windows Millennium Edition (Windows Me)、Windows 2000 および WindowsXP で動作する。Windows95 や NT4.0 はサポート対象外。年内には日本語版を含む 26 カ国語版をリリースする予定。

(9/05)

SII、世界最小・最軽量の通信機能内蔵 SD カード型端末を開発

セイコーインスツルメンツ(略称:SII)は、DDI ポケットの提供する「AirH」(エアエッジ)サービスの 32k バケット方式および 64kPIAFS、32kPIAFS に対応した通信機能内蔵 SD カード型端末を開発したと発表した。

この通信機能内蔵 SD カード型端末は、SII の小型化技術により、既存の PC カード型製品の性能は確保したままで、SD カードサイズとすることに成功した。大きさは 55mm×24mm、重さは約 6g と、コンパクトフラッシュ型に比べて体積で約 45%、重量で約 30%のサイズで実現している。

通信機能内蔵 SD カード型端末を SD インターフェイスに直接装着することによって、ケーブルやジャケットのように持ち運ぶのに

わずらわしさを感じずに、PDA での通信がさらに快適なものになるとしている。

なお、対応予定の PDA は以下の通り。

Palm : m130、m500、m505、m515

東芝 : GENIO e550G、e550G/MD、e550X、e550X/MD、e550、e550/MD

対応 PDA は、今後、さらに増えていく予定。

発売は年内を予定しており、SII では SD アソシエーションにも加入し、パソコン・PDA 以外にも SD カードが搭載されることを推進していくとしている。

(9/05)

オンキヨー、「Net-Tune」対応 AV アンプを発表

オンキヨーでは、ルーカスフィルム社の THX Select 規格に準拠し、7台のパワーアンプを積載した AV センター「Integra TX-NA900(N)」を 2002年10月16日より発売すると発表した。

TX-NA900 に搭載される Net-Tune はネットワーク間で音楽ファイルやコントロール信号を通信することを目的にオンキヨーが開発したプロトコル。

ポータルサイトを介してインターネットラジオに接続して世界各国の音楽を居ながらにして楽しんだり、パソコン(サーバー)にアクセスしてプレイリストから希望する曲を選択して、2チャンネルで、あるいはドルビープロロジックや DTS Neo:6 の回路で 5.1ch に配分した高品位なサウンドで楽しむことができる。

また、MP3 や WMA、WAVE FILE のデコーダを搭載しており、ネットワークを介して得られる主要な音楽ファイルを再生可能。

Net-Tune を利用するには、パソコンは Web ブラウザをブロードバンド環境で使用され、かつスイッチングハブ機能と DHCP サーバー機能を搭載したルーターを使用されていることが必要条件。またパソコンのスペックは OS が Windows 98SE/ME/XP、CPU は Pentium 600MHz 相当以上。

さらにパソコンのファイル呼び出すには、Web による無料配布予定の専用のアプリ

ケーションをインストールする必要がある。

なお、著作権保護のため、イーサネットから入力した信号はデジタル出力できず、Net-Tune のロゴのある専用クライアント以外では使用できない。

希望小売価格は 200,000 円。
(9/04)

スピードネット、5GHz 帯無線アクセスの屋外実験開始

スピードネットは 2002 年 9 月 4 日より 2002 年末までの予定で、5GHz 帯無線アクセスシステムの電波伝搬実験を開始すると発表した。

この実験は 5GHz 帯の無線アクセスを商用化するための第 1 歩として実施するもので、周波数帯は 5.03GHz ~ 5.091GHz の帯域、無線方式は「IEEE802.11a」を使用する。

またこの実験では実際の屋外環境下でも最大実効速度 20Mbps 以上のスループットを目指し、実際の利用環境を意識した内容となる予定。

スピードネットでは、2.4GHz 帯においての無線アクセスサービスを商用化し、FWA (FWA: Fixed Wireless Access) では国内最大規模の事業展開をしている。今回の実験実施により、固定利用(FWA)の無線アクセスシステム市場での位置付けを確固たるものとしていくとしている。

(9/04)

クリエイティブ、NOMAD Jukebox 3 用アクセサリを発売

クリエイティブメディアは、2002 年 4 月に発売された NOMAD Jukebox 3 用の専用増設バッテリーと専用ドッキングステーションを 2002 年 9 月 3 日より発売すると発表した。

NOMAD Jukebox 3 専用ワイヤレスリモコン付きドッキングステーションは、IEEE1394、USB1.1、アナログスピーカー入出力など NOMAD Jukebox 3 のほぼ全てのインターフェースを搭載。NOMAD Jukebox

3 本体をドッキングステーションにセットするだけでバッテリー充電が可能。

また、赤外線ワイヤレスリモコンで半径 8m の範囲内での遠隔操作が可能。アナログ出力 (4 チャンネル) を搭載し、「Creative Inspire 4.1」などのマルチチャンネルスピーカーと組み合わせることにより、マルチチャンネルサラウンドで音楽が楽しめる。オンライン販売価格は 8,680 円。

NOMAD Jukebox 3 専用増設バッテリーは、本体付属のバッテリーと併用することにより、最長約 22 時間の連続再生が可能になる。

オンライン販売価格は 4,980 円。
(9/03)

ケンウッド、NetMD 対応 DVD システムを発表

アケンウッドは、最新のサラウンド技術を搭載し、Net MD にも対応した DVD ハイエンドシステム「Digital Avino VC-7DVD」を 2002 年 9 月下旬より発売すると発表した。

「VC-7DVD」は、新開発「V.F.S. パーチャル・フロント・サラウンド」を搭載。SRS 社との協業のもと、KENWOOD が自社開発したサラウンド回路「V.F.S.パーチャル・フロント・サラウンド」を搭載。このサラウンド技術により、リアスピーカー無しでも臨場感溢れる自然なサラウンド効果を実現している。

Net MD 規格対応しており、VC-7DVD とパソコンを USB 接続し、付属のアプリケーションソフト「Mulia」をパソコンにインストールすれば、CD や音楽配信サービスからパソコンに記録した音楽データを MD に高速転送できる。また、MP3 や WAV 形式の音楽データも「Open MG」形式に変換して MD へ高速転送することが可能となっている。

付属のケンウッド・オリジナルのパソコン用アプリケーションソフト「Mulia: ミュリア」は、パソコン内の音楽ファイルの管理・編集や WAV、MP3 ファイルを著作権保護された「OpenMG」形式へ変換が可能。

また、インターネットで「Gracenote CDDB」にアクセスし、音楽 CD のタイトル情報の取得などに対応した。また、圧縮デー

タを高品質に再生する「Supreme: サプリム」も搭載しており、パソコン上で音楽ファイルを再生する際も高音質な音楽再生が可能となっている。

2002 年 9 月下旬発売予定。価格はオープン。
(9/03)

総務省、7 月末のインターネット利用者数を発表

総務省は、2002 年 7 月末の時点でのインターネット接続サービスの利用者数速報を発表した。

いわゆるブロードバンドの利用者数としては、CATV インターネットが 171 万人、DSL が 3,610,199 人、FTTH が 84,903 人となっている。

DSL の加入者が前月から 31 万弱増やし相変わらずブロードバンドの牽引役になっている。一方、CATV インターネットは 8.4 万の増加となり増加数の伸びが目立つ。また、FTTH も数字は少ないものの前月から 16,000 以上増え、増加率は高い。
(9/02)

ソニー、NetMD 対応オーディオ機器の新モデルを発表

ソニーは、MD ウォークマン 1 号機発売から 10 周年となる 2002 年 11 月、Net MD ウォークマン『MZ-N10』、MD デスクトップオーディオシステム「サウンドゲート」『LAM-Z10』、MD デスクトップオーディオユニット『LAM-10』を発売すると発表した。

Net MD ウォークマン『MZ-N10』は、本体最薄部約 12.9mm、質量約 84g(充電電池含む)で録音再生機として世界最小、最軽量を実現。現行機種『MZ-N1』に比べ、厚さで 2.6mm の薄型化を実現。本体質量では 30g の軽量化を達成している。

Net MD 規格対応で、付属ソフトウェアを使って音楽データを PC 上に保存。PC と本機を USB で接続し、著作権保護技術「OpenMG」と「MagicGate」に基づいて本

機へ最大約 64 倍速の高速転送が可能。

PC での音楽ファイル管理アプリケーションソフトウェアの「SonicStage Ver.1.5」を付属。CD や電子音楽配信 (EMD) サービスからダウンロード購入した音楽を著作権保護技術「OpenMG」で暗号化し、PC 内ハードディスクドライブ (HDD) へ保存できる。

本体とマッチしたデザインの USB クレドールを採用。PC との接続は付属の専用 USB ケーブルを使い、「簡単パソコン接続 & 充電」が行える。また、本体に専用 USB 端子を搭載しており、USB クレドールを介さず PC との接続も可能となっている。

音質面では、ソニーのハイスペック MD デッキに搭載されている ATRAC 用 DSP TYPE-S を採用。ソニー独自の音響技術であるバーチャルホンテックノロジー・アコースティックエンジンを MD ウォークマンとして初めて採用。

6 帯域それぞれ 10dB ~ 10dB の範囲で 7 段階可変のイコライザを搭載。あらかじめプリセットされた「ヘビー、ポップス、ジャズ、コニーク」の 4 モードに、好みに設定できる 2 つのカスタムモードの計 6 モードが設定できる。

従来コントローラーと比べ、スリムなデザインで操作性も向上した新しいスティックコントローラーを付属。漢字表示機能を搭載、カナ、英数表示の場合にはグループ名と曲名を同時に 2 行表示が可能。クリップは脱着可能で、コントローラーをつける場所に合わせクリップの位置を変えることができる。

また、MD 再生中にブックマークトラック登録を行うことにより、簡単に好きな曲だけを再生することができる。ブックマークトラック登録は 1 枚の MD に最大 20 曲まで可能。

色はシルバーとグレー。2002 年 11 月 10 日発売予定。価格はオープン。

Net MD 対応のデスクトップオーディオサウンドゲート『LAM-Z10』『LAM-10』は、MD と CD の複合機でありながら、机の上や本棚にもすっきり収まるコンパクトサイズ。スピーカーと合わせた横幅で 284mm、高さ 207mm、奥行はわずか 198mm。

『LAM-Z10』は小型ながら高音質のスピーカーと自由にレイアウトできるシステムで、『LAM-10』はお手持ちの内蔵型アクティブスピーカーとの組み合わせが可能。

Net MD 規格対応で、CD や電子音楽配信 (EMD : Electronic Music Distribution) サービスからダウンロード購入した音楽データを PC 上に保存。PC と本機を USB で接続し、著作権保護技術「OpenMG」と「MagicGate」に基づいて最大約 32 倍速の高速転送ができる。

なお、本体単独で CD から MD へ最大約 4 倍速での高速録音がワンタッチで可能。PC を起動しなくても単独で音楽を楽しむことができる。また、CD/MD はそれぞれのイジェクトボタンを押すとフロントの操作パネルが電動で左右にスライド。また、スロットインメカを採用し、メディアの出し入れがスムーズにできる。

色はシルバーとブルー。2002 年 11 月 21 日発売予定。価格はオープン。

同時に本体厚 9.9mm、質量 55g (充電電池含む) の世界最小、最軽量再生専用 MD ウォークマン『MZ-E10』も発表している。

(9/02)

J-フォン、SD Audio 準拠の携帯電話の新モデルを発表

J-フォンは、録画した最大 5 秒間の音声付き動画をメールに添付して送受信できる「ムービー写メール」に対応した SD Audio 準拠の新機種、「J-SH52 (シャープ製)」を 2002 年 10 月上旬以降、順次発売開始すると発表した。

J-SH52 は、J-SH51 でも搭載された SD メモリカードの使い方がさらに進化。音楽はもちろん、動画の長時間録画やボイスレコーダー機能などが搭載された。もちろんメール・画像・メモリアイタルの拡張メモリや、パソコンと連携した個人情報管理などにも利用できる。

高感度撮影が可能な、有効画素数 31 万画素 CCD モバイルカメラを搭載。従来の、メール添付が可能な「写メールモード」「ムービー

写メールモード」と、VGA サイズ (640 × 480 ドット) の撮影・保存が可能な「デジタルカメラモード」に加え、長時間の動画を撮影可能な「モーションカメラモード」が新たに搭載。1 シャッターで 4 カットを連続撮影できる連写モードや約 5cm の距離で撮影できる接写モードなど、モバイルカメラの機能がさらに多彩になっている。

さらに 65,536 色の表示が可能な 0.9 インチ GF カラーサブディスプレイを搭載。「ピクチャーコール/メール」やミュージックプレイヤー画面、自分撮りするときのファインダー機能など、さまざまなシーンで利用できる。

大きさは約 48x93x26mm (折りたたみ時)、重量は約 106g。色はマリンスilver、ビートブラック。

標準セットには、携帯電話本体、電池パック、急速充電器および卓上ホルダー、ハンドストラップ、SD メモリカード (8MB)、ステレオヘッドホン、光デジタル変換プラグ、アナログ変換ケーブルが含まれる。

希望小売価格は 60,000 円。

(8/30)

トヨタの「G-BOOK」は Windows CE for Automotive を採用

マイクロソフトは、トヨタ自動車の新たな情報ネットワークサービス「G-BOOK」の車載情報端末に、「Microsoft Windows CE for Automotive」の採用が決定したと発表した。

Windows CE for Automotive は、Windows CE テクノロジーをベースに開発された車載情報端末向けオペレーティングシステム。

パワーマネージメント機能、高速な地図描画、カスタマイズ可能なグラフィックユーザーインターフェイス (GUI) とサウンドユーザーインターフェイス (SUI)、インターネットアクセス、高度なグラフィック機能などを装備しており、車載情報端末に必須のハンズフリーやアイフリーなどの領域において飛躍的な改善が可能となっている。

マイクロソフトでは、「Microsoft .NET」が、「G-BOOK」のコンセプトと目指す方向性が

同じであると判断し、今回車載情報端末に Windows CE for Automotive の採用が決定されたことを第一弾として、今後も G-BOOK に賛同し、両社の協力関係の強化を目指すとしている。

(8/30)

トヨタ、情報ネットワークサービス「G-BOOK」を発表

トヨタ自動車は、「人」、「クルマ」、「社会」を有機的に結びつける新しい情報ネットワークサービス「G-BOOK」を開発。2002年9月1日より紹介サイトを開設、10月1日よりPCやPDA(携帯情報端末)、携帯電話向けに一部サービスの提供を開始すると発表した。

G-BOOKは、トヨタの会員制情報サービス「GAZOO」の会員システムを基盤に、車に搭載された無線通信端末(車載端末)での利用を基本としながら、時と場所を選ばないシームレスなシステムを構築、PCやPDA、携帯電話などからもアクセスでき、端末間の連携機能も可能となっている。

なお、2002年秋の新型車に搭載されるG-BOOK対応端末は、データ通信モジュールやSDカードを搭載する新しいタイプの車載端末となっており、ユーザーはラジコ感覚の気軽さで最新のネットワークサービスを利用できる。

G-BOOKで提供されるサービスは、セキュリティサービス、ライブナビゲーションサービス、インフォメーションサービス、エンターテインメントサービス、コミュニケーションサービス、Eコマースサービス、OSS(オペレーターサポートサービス)機能。

エンターテインメントサービスでは、カラオケやBGMを車載機にダウンロードして再生させたり、各種ゲームや音楽をSDカードにダウンロードするなど娯楽情報サービスが予定されている。

G-BOOKの利用にあたってユーザーは「G-BOOK利用契約」を結び、月々定額の利用料を支払う。これによりユーザーは、車載端末による通信と、約30項目の標準サービスが受けられる。オプションの有償サービス

については、ユーザー自身が、利用の都度、サービス提供企業と契約する。

トヨタでは、G-BOOKを車の重要な機能のひとつと位置付けており、2003年月中旬以降に発売するメーカー装着のナビゲーションシステムに標準機能として展開していくとともに、機能・サービス内容の充実に継続して取り組んでいく方針としている。

(8/29)

シャープ、USB On-The-Go 1.0規格対応1チップコントローラを開発

シャープは、パソコンを使わずに、デジカメ/カメラ付き携帯電話/プリンタ等のモバイル機器同士を直接接続して容易にデータ転送できる「USB On-The-Go 1.0規格」に対応した1チップコントローラを開発したと発表した。

本コントローラは、OTG機能、ホスト機能、ペリフェラル機能の3つの機能を1チップに集積、デジカメ/カメラ付き携帯電話/プリンタ等のモバイル機器同士で12Mbpsの高速データ転送を実現する。

応用分野としてはデジタルスチルカメラ、デジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話、プリンタ、PDA、外付け型ストレージなどが想定されている。

2002年10月からサンプル出荷、2003年1月から量産出荷を開始、サンプル価格は1,500円。

(8/28)

松下電器、オーディオデコード機能搭載1チップDVDプレーヤー用システムLSIを開発

松下電器産業は、アナログフロントエンド処理機能からバックエンド処理機能まで搭載し、DVDやCDから読み出された信号を1チップで全て処理できるDVDプレーヤー用システムLSIを開発したと発表した。

従来6個のLSI(アナログフロントエンドIC、サーボ・エラー訂正処理LSI、AVデコ

ーダLSI、システム制御マイコン、プログレス対応LSI、オーディオオクターマックLSI)で構成されていたDVDプレーヤーシステムを1チップに集積。これにより、システムコストを低減すると共に、基板の実装面積を大幅に削減することができる。

また、高度なオーディオ信号処理技術により、DVDオーディオ、MP3、Windows Media Audioなど10種類ものオーディオ規格の再生と同時に、カラオケ、VSSなど様々な付加音響効果の組合せを実現している。

サンプル出荷開始は2002年11月より、サンプル価格は3,000円。

(8/28)

ソニー、MGメモリースティック対応の車載用CDプレーヤーを発表

ソニーは、前面パネルに画面サイズ縦25.1mm、幅104.4mmの高精細TFT液晶ディスプレイを搭載した車載用1DIN CDプレーヤー(アンブ内蔵)『MEX-5DI』を発表すると発表した。

『MEX-5DI』は、400x96ドットで鮮明な画像を描き出す、対角4.2インチTFT液晶を搭載、最大32,000色を同時に発色することができ、多彩なディスプレイを楽しむことができる。

パノラマモード、スクリーンセーバー、壁紙、スベアナの画像がプリインストールされており、ディスプレイの表示を多彩に変化させることができる。デジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラ、パソコンなどからメモリースティックに記録した画像を『MEX-5DI』に取り込み、好みのディスプレイ表示にすることも可能。

1bit(デルタシグマ)デジタルアンプ搭載し、66MHz(1024fs相当以上)の高速サンプリングでの1bit変調により、原音の持つ細かな音像や音の輪郭も忠実に再現させることを可能としている。

また、メモリースティックスロットを装備し、「マジックゲートメモリースティック」に保存した音楽ファイル(ATRAC3のみ)の再生が可能。

CDプレーヤー部ではCD-R/RWやMP3ファイルの再生が可能、パソコンなどにストックした音楽コレクションをドライブ中にも楽しむことができる。

2002年10月1日発売予定。希望小売価格は105,000円。

(8/26)

鷹山、「屋外無線データ通信試験サービス」の試験モニターを募集

鷹山は、屋外での高速無線データ通信サービス「Bit Stand」の商用化に先立ち、一部エリアで無料モニターを募集し、2002年10月から12月まで試験サービスを実施すると発表した。

Bit Standは、IEEE802.11b規格に準拠した最大11Mbps相当(ベストエフォート方式)の公衆無線LANサービス。

試験サービスエリアは、早稲田・高田馬場周辺、池袋駅周辺、新宿区・渋谷区の一部、東北沢周辺。

試験サービスに応募するには、アステル東京の営業区域内に居住または所在し、試験サービスエリア内(順次拡大予定)で利用が可能であること。接続に必要な機器(PC、PDA等)は参加者が用意する。

なお、今後、試験サービスを通して、ユーザー利用動向等の検証を行い、順次エリアを拡大していく予定としている。

(8/23)

「Yahoo! BBモバイル」、ドトールでも試験サービスを開始

ソフトバンク・グループ2社(ビー・ピー・テクノロジー、ヤフー)は、ドトールコーヒESHOP店舗における、モバイル・ブロードバンドコミュニケーション事業「Yahoo! BBモバイル」の試験サービスを2002年8月23日から開始すると発表した。

「Yahoo! BBモバイル」は、2.4GHz帯の周波数を活用した無線LAN規格IEEE802.11bに準拠。下り最大11Mbpsの無

線による高速インターネット接続を提供する。

導入されるのは東京都内のドトールコーヒESHOP6店舗。

なお、ドトールコーヒESHOPにおける「Yahoo! BBモバイル」の実証実験は、当初3ヶ月間を予定しており、実験後の展開については、実証実験の結果を十分に検証した上で、改めて告知するとしている。

(8/23)

オリンパス、「xD-Picture Card」を発表

オリンパス光学工業は、デジタルカメラ用の新しい記録メディア「xD-Picture Card」(xDピクチャーカード)のラインアップおよび関連アクセサリを2002年9月6日以降順次発売すると発表した。

「xDピクチャーカード」は、2002年7月にオリンパスと富士写真フイルムが発表した、超小型サイズ(20.0mm×25.0mm×1.7mm)の新しい記録メディア。製造は東芝が担当し、将来8GBまでの大容量化が予定されている。

今回、そのラインアップとして16MB、32MB、64MB、128MBの4種類を発売(128MBのみ10月発売)。いずれもオープン価格。また、12月には256MBの製品も発売予定としている。

さらに、「xDピクチャーカード」の関連アクセサリとして、「PCカードアダプタ(MAPC-10)」と、「USBリーダー/ライター(MAUSB-10)」も同時発売。価格は7,500円。2002年11月には「CFカードアダプタ」の発売も予定している。

(8/22)

RealNetworks、「RealOne Player v. 2.0」を発表

米RealNetworksは、RealAudio、RealVideo、MP3、Windows Media、QuickTime MPEG-4のほか50以上のファイル形式をサポートするデジタルメディア再生

ソフト「RealOne Player」の新バージョンを発表した。

新バージョン「RealOne Player v. 2.0」では、CDの作成とDVDの再生に対応。CD作成の際にMP3にエンコードするほか、クロスフェードで楽曲をつないだり、CDジャケットの印刷も可能。DVD再生サポート機能はフルスクリーンシアターモードでDVDを視聴できる。メニュー、チャプター、タイトル、言語選択といった機能も利用できる。

また、今年初めに発表した、広帯域接続で利用可能なバンド幅を判断し、再生開始までのロード時間を大幅に削減する「TurboPlay」機能も利用できる。

フル機能のRealOne Player Plusは19ドル95セント。無料のRealOne Player v. 2.0はTurboPlay、Theater Mode、DVD再生、フルスピードCD作成をサポートする。

RealNetworksでは、Realの独自フォーマット以外もサポートするプラットフォーム戦略「Helix」を7月に発表しており、RealOne Player新バージョンもその戦略の一つ。

(8/21)

Yahoo! BB、12Mの商用サービス開始

ソフトバンク・グループは、下り最大12MbpsのADSL接続サービスである「Yahoo! BB 12M」の商用サービスを2002年8月12日から開始したと発表した。

「Yahoo! BB 12M」サービスは、距離や通信干渉などによる速度減衰にも強い下り最大12MbpsのADSL接続サービス。ユーザーの加入電話の回線状況に合わせて、「Annex. A.ex」、「Annex. A」、「Annex. C」の3種のADSL規格からユーザーの通信環境に最適なADSL規格を選択して提供する。

これにより、これまで距離や通信干渉などによる速度減衰でADSLの利用が極めて困難とされていた地域でのサービスの提供が可能となり、Yahoo! BBの提供エリアは格段に広がるとされている。

今回の発表は、7月1日より開始していた

試験サービスを商用サービスとするもの。最終的にモニター申込者数 5 万人を超え、その結果、様々な通信環境や接続環境を対象とした実証実験を行うことができ、試験モニターの大半に通信速度の向上、及び接続距離の延長などの改善が見られたとしている。

料金は、ADSL サービス料が 1,190 円 / 月、コンボモデムレンタル費用が 890 円 / 月、ISP サービス料は『Yahoo! BB 8M』と同額 1,290 円 / 月。

なお、既存『Yahoo! BB 8M』サービス会員による『Yahoo! BB 12M』へのサービス変更については、準備が整い次第、申し込みの詳細については案内する予定としている。

(8/13)

「Yahoo! BB」会員、7 月末現在で 78 万人弱

ソフトバンクは、全額出資子会社ビー・ピー・テクノロジーがヤフーと共同で提供しているブロードバンド総合サービス「Yahoo! BB」の進捗状況を発表した。

それによると、Yahoo! BB 会員は 77 万 9000 人、前月比で 11 万 9000 人の増加。また、Yahoo! BB と同時に提供される IP 電話「BB フォン」の利用登録者数は 31 万 9000 人。

なお、7 月はめたりっく通信グループのサービスが Yahoo! BB に統合しており、増加分には移行した 2 万 7000 人の会員も含まれている。

(8/9)

有線ブロード、7 月末時点の進捗を公表

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業 (FTTH ブロードバンドインターネットサービス) について、2002 年 7 月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、Web でサービスの申込みを行なった登録数が 84,419 件、工事日が確定している契約者数が 24,397 件、回線が開通している取り付け数が 13,894 件となり、取り付け数がひと月で 2,300 件強の伸びを見せた。

そのほかの数字を 6 月末時点のものとは比べると、登録数が約 4,000 件、契約者数で約 2,700 件の増加となっており、いずれも伸びが大きくなっている。

なお、7 月には展開エリアが 82 から 89 に増えている。

(8/9)

7 月末の DSL 加入者数は 360 万超

総務省から 2002 年 7 月末時点の DSL 加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は 3,610,199 でこれは前月末の 9.4% 増。増加率は前月から 0.4% 増。

内訳を見ると NTT 東西のフレッツ ADSL での加入者が 1,516,766、他事業者経由の DSL 加入者が残りの 2,093,433 で、NTT 東西のフレッツ ADSL のシェアは 42.0% と前月と変わらず。

(8/9)

レーベルゲート、新音楽配信サービスを発表

レーベルゲートは、パソコンのみならず様々な AV 機器や携帯機器などにも対応できる著作権管理・配信技術「OpenMG X」を使った新たな配信方式「レーベルゲート MQ 方式」による音楽配信サービスを 2002 年 8 月より順次開始すると発表した。

この「レーベルゲート MQ 方式」では、「OpenMG X」に対応した「MAGIQLIP (マジクリップ)」というプレーヤーソフトをユーザーの PC にインストールし、このプレーヤーを使って、レーベルゲート経由で各レコード会社の音楽配信サイトから希望の楽曲をダウンロードする。

なお、現在のサービスで使用されている「Madison Player」で購入した楽曲を「MAGIQLIP」で再生することも可能となっている。

機能としてはショッピングカートを利用したのまとも買いが可能になっている他、パッ

クアップ・リストア機能を実装している。

レコード会社としては、エイベックス、キングレコード、ソニー・ミュージックエンタテインメント、ビクターエンタテインメント、フォーライフミュージックエンタテイメント、ポニーキャニオンの合計約 1400 タイトルが「レーベルゲート MQ 方式」に対応予定。

なお、8 月 7 日 15 時より「レーベルゲート MQ 方式」の先行サービスとして、ビクターエンタテインメントの配信サイト『なあ! (na@h!)』にてザ・コブラツイスターズの「いつかの少年」が、ソニー・ミュージックエンタテインメントの配信サイト『bitmusic』にて bird の「フラッシュ」など 4 曲が無料配信される。

(8/7)

ソニー、デジタルコンテンツ著作権管理・配信技術を発表

ソニーは、インターネットなどを通じた音楽や映像などのデジタルコンテンツ流通に開し、さまざまな機器に対応できる独自の著作権管理・配信技術「OpenMG X」を開発したと発表した。

ソニーでは、今後の DRM (Digital Rights Management: 著作権保護・管理・配信) 技術には以下のような条件が必要とし、これらの条件を満たし、配信側から利用者の機器側までを一貫してサポートできる DRM 技術「OpenMG X」を独自に開発した。

1. インターネットやパッケージメディアなど、様々な流通経路への対応
2. 音楽や映像など多彩なデジタルコンテンツへの対応
3. パソコンだけでなく、「プレイステーション 2」や AV 機器、携帯機器など、今後、ネットワークにつながる様々な機器への対応

「OpenMG X」は、配信側で再生期間や回数などの著作権管理情報をコンテンツに付与して暗号化するモジュール、各コンテンツの著作権管理情報をユーザーへ配信するサーバーモジュール、「OpenMG X」対応アプリケーションソフトを開発するためのクライアン

トモジュールから構成される。

なお、クライアントモジュールを応用した PC 用ネットワークミュージックプレーヤー MAGIQLIP (マジクリップ) も併せて開発された。

インターネットの音楽配信サービスでは、日本でレーベルゲートが「OpenMG X」を利用した音楽配信システムおよび MAGIQLIP 対応のサービスを開始する予定。また、米国においても Pressplay が将来「OpenMG X」を利用した配信サービスを提供する方向で検討中としている。

ソニーでは、「OpenMG X」をコンテンツ配信サービスを実現する開かれたプラットフォーム技術と位置付け、ハードウェアメーカー、ソフトウェアベンダーなどへのライセンス提供を検討していくとしている。

(8/7)

サンプル価格は「LC87F1564A」が 1500 円、「LC871564A」が 750 円。いずれも 2002 年 9 月より受注を開始する。

(8/6)

三洋電機、ネットワーク対応オーディオ機器向けマイコンを発表

三洋電機は、ネットワーク対応オーディオ機器のシステム・コントローラとして最適な USB インターフェースを搭載した 8 ビットマイコン LC87F1564A ならびに LC871564A の 2 機種を開発したと発表した。

フラッシュ ROM 版「LC87F1564A」は、内蔵する USB インターフェース経由でマイコン自身のプログラム書き換えをパソコンから直接行なえる三洋独自のフラッシュオンボード書き換え機能を特長とする。同時に、廉価なマスク ROM 版「LC871564A(マスク ROM 版)」もラインナップしている。

両機種とも、USB オーディオ対応ファームウェア、USB マスストレージ対応ファームウェアを始めとして、7 本あるエンドポイントをフルに活用し、魅力ある高機能オーディオ機器を実現するための豊富なソフトウェアパッケージを用意している。

その他、USB 仕様バージョン 1.1(Full-speed 対応)に準拠し、専用オーディオインタフェース、専用 MMC カードインタフェースを持つなど、特にオーディオ機器向けに最適な仕様となっている。

EMD Magazine 第 24 号

発行 2002 年 9 月 15 日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース